

エコマーク商品類型 No.140 (公開時から番号を変更)「詰め替え容器・省資源型の容器 Version1.0 (認定基準案)」への意見と回答

No.	箇所	意見	回答
1	A.詰め替え容器 4-1.(1) 内容物と容器の 重量比「その他」 について	廃棄する容器の軽量化を図るとすれば、従来の、本体容器との重量比による基準設定の方が内容物の重量との比較よりも適していると考えます。	本体容器から詰め替え容器への転換は省資源という効果が明確です。ただし、従来の「本体容器との重量比」という考え方では、本体容器の軽量化努力を阻害する側面もあると考えられることから、詰め替え容器の重量に関する認定基準は本体容器と切り離すことが妥当と考えます。また、詰め替え容器の使用は、ごみの削減という消費者への直接的なメリットから既に普及が進んでいます。これらのことから、詰め替え製品の中でより環境負荷の低い製品を認定する考え方を認定基準に取り入れました。